

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	10
事業名	消防団員人件費	会計	款	項	目
		一般	9	1	2
施策	1 安全・安心なまち	課名	環境防災課		
	1-1 安全・安心のまちをつくる	係名	危機管理室		
	1-1-1 消防・防災対策の充実				
主要施策	⑤消防団の活性化				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。
事業内容	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。 非常時に召集し、火災や風水害などの災害活動を行うほか、地域に密着した火災予防広報、応急手当普及活動、自主防災組織の訓練指導などの予防防災活動を行うことによる人件費。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	消防団の訓練回数	24	24	24	回			24
2	消防団員数	92	94	92	人			98	
3									
4									
5									
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B					4,653	6,342			6,677
財源内訳	直接事業費 A				4,653	4,554			4,889
	うち一般財源				4,653	4,554			4,889
人件費 (千円) B					0	1,788			1,788
内訳	一般職員 (人・千円)				0	0.26	1,716	0.26	1,716
	臨時職員 (人・千円)				0	0.04	72	0.04	72

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	消防団員の確保が難しくなっている。
②R1年度に実施した取り組み	毎月2回の訓練の他、総合防災訓練・夏季訓練・高齢者宅を訪問するなどの防火啓発活動を実施、また「消防団災害等活動要領」が策定された他、入団促進のため運転免許取得費補助条例策定の協議を進めた。	④今後の改善計画	団員確保の対応として、報酬及び手当を増加する必要がある。また、運転免許制度の改正により消防ポンプ自動車運転に必要な免許取得に係る助成を開始。